

学校だより

玲瓏…玉のように光り輝く。鈴のように響き渡る。

# れいろう

令和8年9月25日

第7号

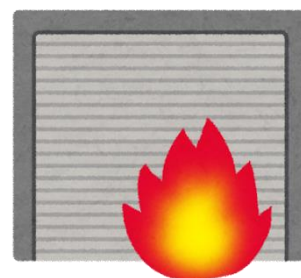
富士市立吉原第三中学校

住所：富士市比奈 2126

電話：0545-34-0868

## 火災避難訓練

9月1日（火）に火災避難訓練を行いました。今回は給食室からの出火を想定し、運動場に避難する訓練でした。学校には、各階の階段に防火シャッターが設置されており、火災が発生したときには防火シャッターが閉まるようになっています。防火シャッターが閉まったときには、階段横にある非常扉を開けて避難します。これまで、非常扉を通った訓練を行っていなかったため、今回は防火シャッターが閉まった状態を想定した避難訓練を行いました。



給食室から出火したとすると、校舎の構造上、火元に近い校舎西側の階段を下りることはできないと考えられたため、全校生徒が東側の階段を下りて運動場に避難しました。非常扉や校舎1階から外への出口は狭く、全生徒が避難するにはかなりの時間を要することが予想されました。また、全校生徒が一か所に集中することで、階段での転倒や出口付近での混雑など、安全面についても心配されました。

しかし、実際の避難は整然と行われ、予想していたほど時間もかからず、安全面での大きな問題もありませんでした。3年生が非常扉を使って避難している間、上の階の1・2年生は廊下や階段で待機することになっていましたが、下の階の様子を確認しながら落ち着いて静かに待つことができました。順番がくると速やかに避難し、運動場では担任が素早く点呼を行いました。その結果、各学年とも正確に人数を確認することができました。

一方で、ハンカチを持っていない生徒が多いことが課題となりました。火災時には炎よりも先に煙が充満することが考えられます。煙を直接吸いこまないようハンカチなどを口元に当てて避難することが大切です。日頃からハンカチを持ち歩く習慣を身に付けてほしいと思います。また、今回は訓練



ということで、担任が生徒を先導し、級外職員が各所に立って避難誘導を行いました。しかし、実際の火災では、初期消火や通報などにあたる教職員もいるため、今回の訓練のように十分な人数で生徒を誘導できるとは限りません。今回の訓練を通して明らかになった課題をもとに、教職員でも改めて防災研修を重ねていきたいと考えています。生徒たち自身も、災害時に慌てることなく状況を判断し、安全な経路を選んで避難できるよう、今後も防災教育や避難訓練を継続していきます。

## 防災食体験

火災避難訓練に続いて、防災食体験を行いました。この体験では、御家庭で御準備いただき、学校で保管していた防災食を実際に食べました。

生徒が準備したものを見ると、缶詰や乾パン、開封してそのまま食べられるレトルト食品、バランスバーなど、様々な防災食がありました。普段の給食と違い、自分で用意した防災食を食べることを楽しんでいる様子も見られました。一方で、「災害が起きて、本当にこの食事をするようになったら」と考えることで、日頃から備えておくことの大切さを改めて感じた生徒もいました。また、実際に食べてみると、レトルト食品はあってもお箸やスプーンがなかったり、缶詰を食べた後に空き缶を片付

けるための袋がなかったりするなど、体験してみたからこそ気付くこともありました。

大きな災害が発生し、帰宅することができず、学校で避難生活を送ることになった場合、防災食は大切な備えの一つとなります。今回の体験を通して、生徒たちは「食べ物を準備しておく」だけでなく、「実際に食べる場面を想像して準備することの大切さ」についても考えることができました。

すでに2回目の防災食体験（12月2日）に向けて、御家庭での御準備を進めていただき、ありがとうございます。「我が家では、どのようなものを防災食として準備しているか」「食べるために必要なものはそろっているか」など、この機会に御家庭でも話し合ってみてください。

## 玲瓏祭に向けて

10月21日（水）文化の部、22日（木）体育の部に向けて、玲瓏祭の準備が着々と準備が進んでいます。

「生徒・教員、みんなで創る玲瓏祭」をテーマに、生徒も教員も一人一人が活躍できる場を大切に、それぞれが責任をもって取り組むことで、三中のグランドデザインにある「生徒の主体的な取組を促し、自分たちで成し遂げたという実感」につなげていきたいと考えています。

係・部門は文化・体育・式典・掲示・色別の5部門で構成されています。入場から演技・競技、退場まで玲瓏祭のさまざまな場面をそれぞれの係・部門が担当します。生徒と教員が互いにアイデアを話し合い、協力しながら、一つの行事をつくり上げていきます。9月1日には第1回係会、25日には第2回係会が行われました。

体育の部では、各色別集団によるカラーパフォーマンスの準備や練習も進んでいます。3年生のリーダーが中心となってパフォーマンスの内容を考え、それを1・2年生に伝えました。どの色からも大きな声が響き、学年を超えて一つになろうとする姿が見られました。本番でどのようなパフォーマンスを披露してくれるのか、今から楽しみです。

また、各学年・各学級では合唱練習も始まっています。まだ練習を始めたばかりで完成までにはもう少し時間がかかりそうです。しかし、一回一回の練習を大切に、声を合わせ、少しずつ前進し、成長している感じが感じられます。合唱は、歌うことだけが目的ではありません。仲間と声を合わせ、一つのものをつくり上げていく過程には、普段の学校生活とはまた違った学びがあります。思うようにいかなかったり、ときには思いがぶつかったりすることもあるかもしれませんが、それでも試行錯誤しながら練習を重ねる中で、学級や学年の絆が少しずつ深まっていくことを願っています。本番ではこれまでの練習の成果とともに、生徒たちの思いのこもった歌声を体育館いっぱいに響かせてくれることでしょう。

1年生は学年合唱で「HEIWAの鐘」と「地球星歌」の2曲、2年生は学級合唱で1組「14-fourteen」、2組「大切なもの」、3組「君とみた海」、4組「生きている証」、3年生は学年合唱で「僕らはいきものだから」を歌います。

